

アンセリン投与による尿酸値降下作用の検討

○西本 悦美<sup>1</sup>, 中谷 祥恵<sup>1</sup>, 古旗 賢二<sup>1</sup>, 和田 政裕<sup>1</sup>(<sup>1</sup>城西大院薬)

【目的】アンセリンは $\beta$ -アラニンと1-メチル-L-ヒスチジンのジペプチドである。アンセリンの経口投与は食餌性高尿酸血症モデルラットにおける血清中の尿酸値を低下させる可能性が示唆されている。本研究では、オキソニン酸(OA)誘発高尿酸血症モデルマウスを用いて、アンセリンの経口投与が血清中尿酸濃度および尿中尿酸排泄量に与える影響について検討することを目的とした。

【方法】7週齢の雄性 ddY マウスを、通常飼料群(N 群)、1%アンセリン含有飼料群(A 群)、5%オキソニン酸カリウム含有飼料群(5%OA 群)、5%オキソニン酸カリウム+1%アンセリン含有飼料群(5%OA+A 群)、5%オキソニン酸カリウム+0.012%ベンズブロマロン(Bz)含有飼料群(5%OA+Bz 群)の5群(各群 n=8)に分けた。OA はウリカーゼ阻害剤で、高尿酸血症誘発剤として投与した。尿酸排泄促進剤の Bz は、ポジティブコントロールとして用いた。飼育開始 2 週間後に血清および尿を採取し、リンタンゲステン酸法を用いて尿酸値を測定した。

【結果】血清尿酸濃度は N 群と比較して A 群で有意な差はなかった。5%OA 群で N 群と比較して増加傾向を示したが、5%OA+Bz 群で 5%OA 群と比較して有意に低下し ( $P<0.01$ )、N 群と同等となった。5%OA+A 群の血清尿酸濃度は、5%OA 群と比較して低下傾向を示したが有意な差は認められなかった。5%OA+A 群の尿中尿酸排泄量は、5%OA 群と比較して有意に増加した ( $P<0.05$ )。

【考察】アンセリンは尿中への尿酸排泄量を増加させ、尿酸値を低下させる可能性が示唆された。今後、詳細なメカニズムについて検討を行っていく予定である。